

羅針盤-祝入学号-

COMPASS

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

第135号 2022.4.16(土)発行

教職をめざす学生・卒業生のために

関西外国語大学
教職教育センター

お祝いの言葉「入学・進級おめでとう」

教職にかかわる先生方より、みなさんへお言葉をいただきました。



教職をめざすみなさんへ

～人権感覚を高める～

英語キャリア学部（小学校教員コース） 教授 浦嶋敏之

みなさん、ご入学・進学おめでとうございます！

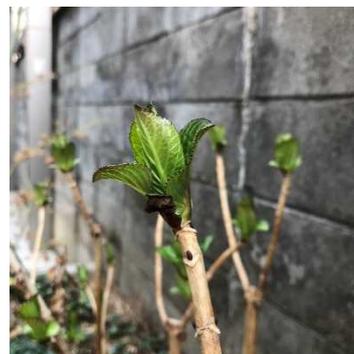
「今世紀、人類は二度にわたる世界大戦の惨禍を経験し、『平和のないところに人権は存在し得ない』、『人権のないところに平和は存在し得ない』という大きな教訓を得た。今や、人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識になりつつある。このような意味において、21世紀は『人権の世紀』と呼ぶことができよう。」(1996年5月17日：地域改善対策協議会意見具申より)

『人権の世紀』をめざして学校教育においても、子どもと先生による一人ひとりを大切にしたい実践が積み上げられています。教職をめざす皆さんにも是非、その仲間に加わっていただき、共に新たな取組みを創っていきましょう。期待しています！

今日、文字通り“予測困難な時代”となっています。いつの世も、混乱の一番の犠牲となるのは子ども達です。このような混沌とした子どもを取り巻く状況の変化を、意義のある教育活動に変換できる教員の創造力が一層求められます。

教員の仕事（教育の営み）は、人とのつながりを通して子どもの生き方を創る仕事です。子どもとの信頼関係を築き仲間の絆を深めながら、一人ひとりの未来への道筋を創っていくのです。そのためには、子ども達を受け止める豊かな人権感覚と確かな知識・技能を身につけることが大切です。“社会状況の変化”や子どもからの“正解のない問いかけ”をしっかりと受け止め、共に悩み、一人ひとりの成長の芽に光を注ぐことができる、そんな教員をめざしてください。

“GO FOR it!”



光を受けて
(アジサイの花芽)

人のことが分かる力を鍛えよう

英語キャリア学部 教授 塚田泰彦

本学へのご入学をこころよりお祝い申し上げます。

大学生となった皆さんにとって、これからの4年間で、災禍による不安に苛まれることのない、生きる希望で満たされたものになることを願っています。そしてそうした平穏な日常での弛むことのない真摯な学びの継続によって、個性豊かで器量の大きい成人へと成長することを願っています。

高校時代とは明らかに違う、関西外大のグローバルで先進的な環境は、一人一人が進んで多くの人と接し、その声に耳を傾け、そして何よりも臆せず自分から問いかける姿勢を強く求めています。自分の成長のために、進んでこの新しい環境に飛び込んでください。今までに経験したことのない、人との出会いや活動が待っています。その場合には、試行錯誤しながらも、生きるためお互いを分りあえることが支えになりますので、まずは相手の立場を理解することが第一です。そうした他者との交流によって育まれるこころの成長が、わずかずつではあっても生きる自信となって、その後のあなたを支えます。

教職をめざす人にとっては、人のことを分かろうとすることが自分を理解することにつながり、子ども理解や同僚との共同の学びにもつながります。教職というキャリアは、子どもと一緒に学ぶことによって支えられ、そのことが同僚との共同生活を実りあるものにするのです。



まもなく教育実習に臨むみなさんへ

外国語学部 准教授 川村悟

年度が変わり、新学期が始まりました。みなさん、入学、進級、おめでとうございます。今回はまもなく教育実習を迎えられる方々へメッセージを送りたいと思います。

「万全の準備で臨む」

教壇に立つ行為には緊張が伴います。私の場合、新年度となる4月、特に初回の授業は何度経験しても緊張します。みなさんをおどかさすわけではありませんが、初めて教壇に立つのであればなおさら

そうなると思います。

みなさんはまもなく教育実習の場で教壇に立ちます。普段は学生の立場で授業を受けることが多いかと思います。しかし、いったん教壇に立ったら、同じ教室でも教員の立場では目に見える風景がまったく違うことにきっと驚かれると思います。多くの生徒の視線が一人の先生に注がれるのです。

それでは、どうすれば緊張を和らげることができるのでしょうか？残念ながら私はその方法を知りません。だから、授業には常に万全の準備をして臨みたいと考えています。教育実習の場といえども、みなさん一人で行う訳ではありません。そこには学ぼうとする生徒がいるのです。「これ以上の準備は本当にできないのだろうか？」と常に考えながら、教育実習が始まるまでの期間を過ごして頂きたいと思います。みなさんの活躍を期待しています。



少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んず可からず

英語キャリア学部 教授 村上明子

皆さん、ご入学おめでとうございます。

上記は、朱子学を完成させた朱熹の「偶成」という漢詩の一節です。大変に有名なフレーズなので一度は耳にしたことがあるでしょう。この詩の持つ感慨は皆さんが老年になって初めて、ああ、と肝に入るようなものですが、あえて「春草の夢」の中においでであろう今のみなさんに、ご紹介したいと思います。

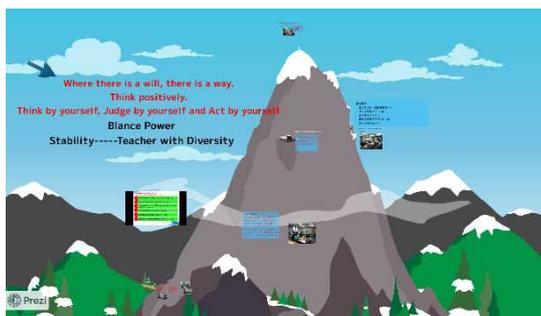
この一節にあるように、若者もあっという間に年を取ります。そして身につけるべき学問はなかなか成就しません。この学問は皆さんが抱いている将来の夢や目標に言い換えてもよいでしょう。皆さんの胸は今、希望に大きく膨らんでいます。しかし、その希望を現実のものにするためには、ほんのちょっとした隙間時間も無駄にせず、外国語を自分のものにするために、たゆまぬ努力を続ける必要があります。それは大変な辛抱です。しかし、その先にこそ皆さんの喜びが待っています。その喜びこそが人生の醍醐味なのです。

人生の醍醐味を豊かに伝えられる教師になってもらいたい。そのための4年間は実り多いものであることを切に願っています。

***Congratulations on your new start in Kansaigaidai!
 Challenge anything! Don't be afraid of making mistakes!
 Where there is a will, there is a way!!
 Better than before! Keep it real!***

英語国際学部 教授 西村孝彦

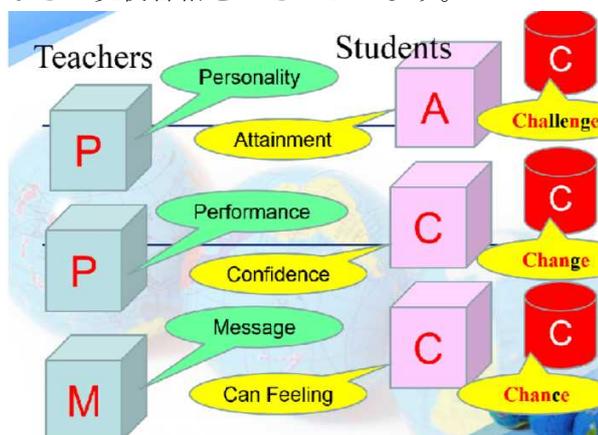
新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから教職をめざす皆さんは4年間かけてこの山の



の頂をめざして登り続けることとなります。この山に登り続けるには自主的、継続的な Sustainable Development Power が必要です。この山頂を常に見つめ、常に自分が教壇に立っている姿を意識して、教職をめざす仲間と努力を重ねていきましょう。Shall we climb the mountain of becoming a teacher altogether? Where there is a will, there is a way!

新学習指導要領がスタートし、How to get information から How to use information へ、英語教育においても How to learn English から How to use English へ、すなわち学んだ英語を使ってみる。学校英語をいかに生活英語に密着させていくかを考え、Output 重視の英語教育をめざして、文部科学省も世界で展開されている TESOL(Teaching English to the Speaker of other language)を日本の英語教育に導入していく人材育成をめざしています。各都道府県が英語教育改革・改善に積極的に取り組もうと意欲を燃やし、またこれからの英語教育を担う人材育成に取り組む姿勢を強く示しています。中学校・高等学校で英語の授業を英語で行うことを基本とし、英語教員の英語力を今後公表していこうという動きにもなっています。

英語教員になるために、これからみなさんは自分の英語力を今できるかぎり大学在学中に磨いておくことが大切であると思います。そのうえで自分の Willpower を強固にし、何事にも“ I must do it.”ではなく“ I will do it.”さらに“ I want to do it.”という心が伴ってくれば、自分自身のための大きな成果が Get できると確信します。教員（教諭）になるのに今がチャンスです。Now, get the chance! みなさん現役合格をめざしましょう。



You should challenge anytime with positive thinking and for your challenge with your flexibility you should change your mind and take actions. Those actions lead to get a chance. To a teacher, it is necessary to make much of both teachers' personality and students' personality. It is also effective for teacher to keep the power of Natural Performance and timely messages.

As a university student, in your university life, a little achievement leads to a little confidence and can feeling. What is the most important thing is to step forward with your willpower. Go for it!!

ご入学、ご進級、おめでとうございます！

短期大学部 教授 明石一朗

春、新緑まぶしいキャンパスにみなさんの笑顔が広がっています。

春の語源は動詞の「晴る」からきていると言われます。冬が終わって万物が「晴れ」やかに漲り、生命が膨らみ「はる」（張る）からだと思います。

今年度も新しい仲間が夢と希望に胸ふくらませて入学してきました。進級する先輩のみなさんは、新入生の姿に数年前の自分を重ね、「私も頑張るぞ！」と、気持ちを一層引き締め高めているのではないのでしょうか。

本学は 70 余年の歩みの中で「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」という建学理念の下、語学力と豊かな人間力の向上を軸に、変化する時代と社会の要請に応える国際人の育成をめざして発展してきました。

教員をめざすみなさんは、新学期を迎えるにあたり、「日々初心」（世阿弥著『風姿花伝』）の気持ちで学業に励み、多くの仲間と共に学び合い、教員採用試験合格をめざして努力を積み重ねてください！



最後に、みなさんに次の言葉を贈ります。

「夢ある人に目標あり、目標ある人に計画あり、計画ある人に実行あり、実行ある人に成果あり、成果ある人に幸せあり、幸せある人にロマンあり、ロマンある人に夢がある」

(内山敏彦さん：リゾートトラスト総料理長)







